

# アゼルバイジャン共和国

人口 9,383,700人 (2013年)  
面積 86,600Km<sup>2</sup> (日本の4分の1程の大きさ)

首都 バクー

公用語 アゼルバイジャン語

概要 アゼルバイジャン共和国 (通称: アゼルバイジャン) は西アジアカフカス山脈の南、カスピ海の西南海岸に位置する旧ソビエト連邦の一部で、北はロシア、北西はグルジア、南はイランと国境を接し、東はカスピ海に面した経済成長が著しい国家であり、1991年8月30日に共和国独立を宣言しました。

1993年以来、元アゼルバイジャン共産党書記長のヘイダル・アリエフ氏が大統領として政権を掌握し、現在は長男のイルハム・アリエフ氏が大統領に就任しています。

国内にはバクー油田など豊富な天然資源があり、近年は油田のほかにカスピ海でガス田も生産を始め、欧米の直接投資と原油高に伴う多額の収入が国内の経済を急速な勢いで成長させていますが、一方で激しいインフレや環境汚染など深刻な問題も抱えています。

出典: Wikipedia

## アゼルバイジャン共和国



## イスマイリ州（region：行政区）

人口	80,900人（2011年）
面積	2,060Km <sup>2</sup> （伊東市の約16倍）
州都	イスマイリ

概要 イスマイリ州は首都バクーから西北西へ約180km、コーカサス山脈の南東に位置し、州都イスマイリとラヒジ、バズガルの町及びその他106の村で構成され、1931年11月に州（行政区）として定められました。

イスマイリ州は、アゼルバイジャンの中でも最も風光明媚で豊かな自然に恵まれた地域として、また、ラヒジに代表される伝統的な文化が継承されている地域として、広く内外に知られています。ぶどうやザクロなどの豊富な農作物と羊、鶏などの飼育を中心とした農業が古くから栄え、工業ではアゼルバイジャンの代表的な産業であるカーペットの生産や、伝統的な工芸品である銅鍛冶製品などが特に有名です。また、年間1万トンが収穫される有数なぶどうの産地として、ワインやコニャックの生産も行われています。

自然豊かな森林では、樅やブナの森の中に数多くの植物や、鳥類などが生息し、年間6万人以上が訪れる観光地としても有名で、今後、より多くの観光客を受け入れるため、現在、地区内中心部にリゾートホテルを建設中であり、観光都市としての整備も積極的に進めています。

また、アゼルバイジャン国内では柔道が盛んであり、イスマイリ中心部にはオリンピックセンター（スポーツ施設）が設置され、将来アゼルバイジャンでオリンピックが開催される場合には、柔道の開催地として名乗りを上げるそうです。

## イスマイリへの交通

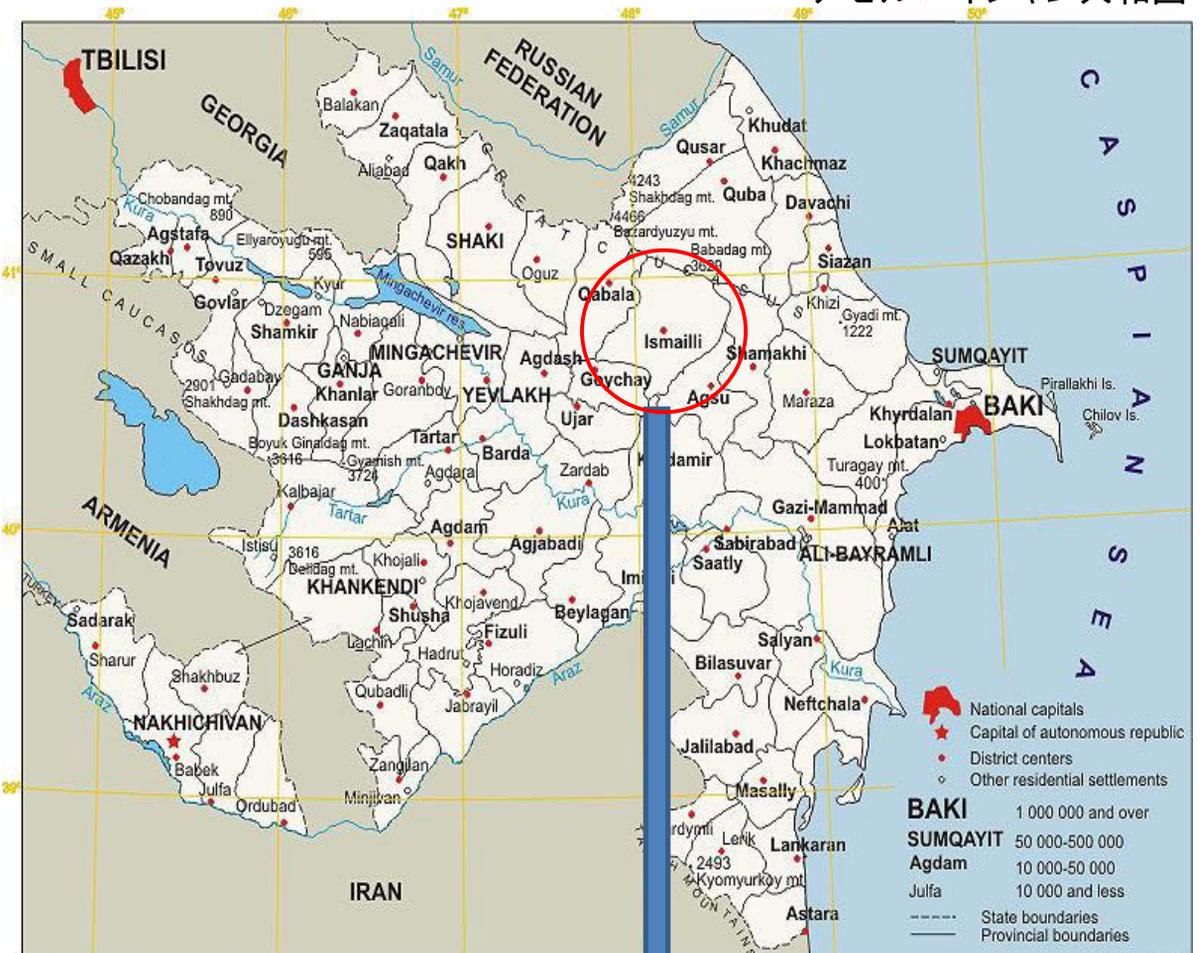
日本からイスマイリへは通常、モスクワ又はイスタンブール経由でバクー（ハイダル・アリエフ国際空港）に入り、空港からは車での移動となります。

- ・ モスクワ経由の飛行時間：約13時間30分（乗り継ぎ時間含まず。）  
（成田～モスクワ 10時間10分 モスクワ～バクー 3時間）
- ・ イスタンブール経由の飛行時間：約14時間40分（乗り継ぎ時間含まず。）  
（成田～イスタンブール 12時間 イスタンブール～バクー 2時間40分）

ハイダル・アリエフ国際空港からイスマイリまでは約200km、車で3時間程度  
バクー中心部からイスマイリまでは約180km、車で2時間30分程度

# イスマイリ州位置図

# アゼルバイジャン共和国



Copyright 2000-2001 Embassy of the Republic of Azerbaijan

Scale: 1 : 2 000 000

# イスマイリ州 (行政区)

